

# 復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	ひまわり信用金庫
取組名称	いわきワインの販路拡大及び観光交流人口の増加
取組概要	<p>1.背景及び経緯 特定非営利法人みどりの杜福祉会が運営する「いわきワイナリー」は、平成20年に双葉郡広野町でぶどう栽培を開始したが、平成23年の東日本大震災のため、ぶどう畑を広野町からいわき市大久町及び好間町へ移転し、平成27年にいわき初のワインの醸造・販売を開始した。しかしながら、知名度の不足及び震災による風評により、販売は低調に推移した。 そのような中、当法人といわき市が平成28年11月に「農商工連携協定」を締結し、いわき市の協力体制が整い、当金庫においても地域金融機関として全面的に協力することとした。なお、平成30年7月、醸造所に隣接した「いわきワイナリーガーデンテラス&amp;ショップ」がオープン、市内の観光拠点の一つとして期待される。</p> <p>2.具体的な取組み内容 (1)ぶどう苗木の植栽に当金庫役職員のボランティア参加(約30名) (2)ネット利活用による販路開拓協議会への取次 (3)販路開拓及び販売促進支援 ビジネスマッチ東北2017・2018(東北地区信用金庫協会ほか主催) 2017・2018よい仕事おこしフェア(城南信用金庫実行他委員会主催) (4)大型レジャー施設(レストラン及び土産売り場)や料飲店への販売に係る提案及び支援 (5)全国の信用金庫のネットワークを活用し、当ワイナリーへの観光客の誘致を図った。</p>
取組成果	<p>1.ワインの販売本数においては、昨年の11,000本から今年度は13,000本が見込まれる。(生産量は昨年及び今年度とも18,000本の見込みとなっている。)</p> <p>2.「よい仕事おこしフェア」では、昨年及び今年とも各々約200本の販売実績となった。</p> <p>3.「ビジネスマッチ東北」では、昨年及び今年とも各々約50本の販売実績となった。</p> <p>4.ネット販売については生産本数との兼ね合いもあり、今後生産体制が確立次第、販売の強化を図っていく予定。</p> <p>5.大型レジャー施設との納入契約については、当金庫の支援のもと引き続き交渉中である。</p> <p>6.平成31年4月から5月城南信用金庫年金旅行約3,000名の予定・平成31年5月から6月朝日信用金庫年金旅行約2,000名の予定</p>
その他	業務拡充に向けた醸造所・ショップ等の整備等にも積極的に支援して行く。
URL等	<a href="https://www.facebook.com/iwakiwine">https://www.facebook.com/iwakiwine</a>